

# 坂出葬儀社の秋の感謝祭 恒例の人形供養祭も実施

（株）坂出葬儀社（本社 坂出市川津町四六〇四一）河崎和義社長は、「秋の感謝祭」の一環として恒例の「人形供養祭」を坂出葬儀社会館で、9月21日に実施した。

人形供養祭は、2005年より毎年実施しており、集まった人形供養料を被災地や団体等に向けて義援金としておこなっている。

同日、会場には思い出に詰まった人形やぬいぐるみ約487体が丁寧に並べられていた。

供養祭に先立ち、寄附金の贈呈式がおこなわれ、河崎社長より坂出市社会福祉協議会の丸橋通良事務局長に向けて目録が手渡された。

丸橋事務局長は「福祉現場においては新型コロナウイルス感染症の影響により、まだまだ厳しい状況が続くと考えている。」



河崎社長

丸橋事務局長

様々な生活課題に直面している方々に支援を途切れることなく継続していくため、社会福祉・地域福祉の推進に向けて有効に活用していきたい」と謝辞を述べた。

その後、供養祭では法城寺住職によるお勤めがおこなわれ、参加者は順番に焼香をあげる様子が伺えた。



公益財団法人 産業雇用安定センター 香川事務所  
高松市常盤町 1-3-1 087-802-6355  
互町 FLAG 9F  
出向の仲介や、離職を余儀なくされる方の再就職を支援していますので、お気軽にご相談ください。

供養祭を通じて河崎社長は「私自身、04年8月にインドネシアへ植林活動として参加し、同年12月に発生したスマトラ沖地震で多くの人が被災したことを機に、坂出葬儀社会館のオープンイベントの一環として人形供養祭を初めて試みた」と振り返りながら、「今後とも、地域の皆様からのご要望がある限り、未永く継続していきたい」と感謝を述べた。

その他、実際にあった相続の事例に基づいた円満相続セミナーや、健

康衛生セミナー、生前の元気な姿を遺影に残す「エンディングフォト撮影会」等も開催されるなど、多くの来場者で賑わいを見せていた。

## 中津万象園・丸亀美術館で 芸術の秋を

中津万象園・丸亀美術館では、9月16日（土）～12月17日（日）の9時～17時（16時半までに入館）に『木版画展（16時半までに入館）』に『木版画展 門脇俊一×武田三郎』全国の祭り」と『四国の風景』を開催中。

門脇俊一氏（1913～2006）は、観音寺市出身の日本を代表する画家であり版画家。大胆さと繊細さを併せ持ち、生涯、名誉を不要と自由な表現を求めた。武田三郎氏（1915～1981）は、多度津町出身の版画家で、四国の山を愛し、地元風景を温かみのある作品として残した。「広報たどつ」「広報まるがめ」の表紙を飾っている。

**木版画展**  
「全国版画の巨匠」  
丸亀美術館・中津万象園  
2023年  
9月16日（土）～12月17日（日）  
9:30～17:00（16時半まで入館）  
丸亀美術館 丸亀市丸亀本町1-1-1  
中津万象園 中津市丸亀町1-1-1

また、第二展示室では、『バルビゾン派とその周辺』描かれた女性達展』を開催。1830年から18

70年頃にかけてフランスで発生したバルビゾン派。同美術館所蔵作品から16点が展示されている。

**ARBIZON**  
バルビゾン派とその周辺  
～描かれた女性たち～展  
丸亀美術館  
中津万象園・丸亀美術館  
9月16日（土）～12月17日（日）  
9:30～17:00（16時半まで入館）  
丸亀美術館 丸亀市丸亀本町1-1-1  
中津万象園 中津市丸亀町1-1-1

会期中の園内では、気温が下がる頃にイチヨウが黄金色に色づき、魚楽亭から母屋、観潮楼を眺めると、池に映るハゼの木の花が美しい。特別展と合わせて秋の散策を楽しんで貰いたい。

**THE NEW MINI 5 DOOR.**  
  
**MINI 高松** 高松市香西南町 618-1  
tel. 087-832-9800